



# 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日

上場会社名 新東工業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 6339 URL <http://www.sinto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 淳

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート部長 (氏名) 春田 則之

TEL 052-582-9211

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	18,841	△1.3	3	△98.5	232	△69.8	103	△71.2
26年3月期第1四半期	19,088	△3.9	204	△57.7	770	4.1	360	132.0

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 72百万円 (△97.7%) 26年3月期第1四半期 3,181百万円 (472.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	1.91	—
26年3月期第1四半期	6.64	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	125,295	85,060	65.4	1,508.94
26年3月期	126,908	85,114	64.5	1,508.71

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 81,920百万円 26年3月期 81,908百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	6.50	—	6.50	13.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,000	7.6	1,100	△12.1	1,500	△33.3	700	△48.7	12.89
通期	91,000	2.1	3,600	△6.2	4,500	△15.6	2,300	△18.6	42.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 新東工業商貿(昆山)有限公司 、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	56,554,009 株	26年3月期	56,554,009 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	2,263,512 株	26年3月期	2,263,342 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	54,290,614 株	26年3月期1Q	54,292,716 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、現時点の入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経済状況は、海外では、米国が緩やかな回復基調を維持し、長期停滞が続いた欧州は、底打ち感はあるものの成長率の低迷が継続しました。また、中国やアセアン諸国は引き続き成長を持続しましたが、減速感が鮮明となりました。国内は、円安の定着などで輸出関連企業の業績改善が進みましたが、エネルギーや原材料の高騰の影響を受けた業界では、厳しい状況が続きました。

当社グループの事業環境につきましては、海外では、中国市場での自動車関連の設備投資需要が鈍化し、国内では、設備稼働率の向上に伴う投射材やメンテナンス部品などのアフターマーケット需要によって下支えされましたが、この第1四半期は自動車関連向け設備の主要な売上が第2四半期に予定されている影響を受けました。

こうした情勢の下、当第1四半期の受注高は19,867百万円（前年同四半期比9.8%減）、売上高は18,841百万円（同1.3%減）、受注残高は28,777百万円（同2.5%増）となりました。

収益面につきましては、販売費及び一般管理費の増加があり、営業利益は3百万円（同98.5%減）となりました。経常利益は、為替差益が減少したことなどにより232百万円（同69.8%減）を計上し、四半期純利益は103百万円（同71.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### [鑄造分野]

欧州市場では、ロシア向けの需要がありましたが依然として低調な需要動向が続き、中国やアセアン市場での需要の鈍化傾向や、北米市場でのシェールガス採掘向けサンドコーティング設備の売上が低調に推移したことにより、売上高は5,981百万円（同18.1%減）となりました。

営業損益につきましては、売上減の影響により14百万円の損失（前年同四半期は441百万円の利益）となりました。

#### [表面処理分野]

表面処理装置は、造船や建機向けの大型表面処理設備に需要一巡がありましたが、復興需要を受けた鉄骨向けショットブラスト装置が好調に推移するとともに、国内外で自動車部品向けにショットピーニングマシンが堅調に推移しました。装置に使用する投射材は、国内市場での価格政策や南米での回復傾向などで物量を確保して、分野全体の売上高は、装置、投射材ともに増加して、8,269百万円（前年同四半期比8.7%増）となりました。

営業利益は、装置の利益率が低下して、384百万円（同14.1%減）となりました。

#### [環境分野]

VOCガス浄化装置の需要は低調でしたが、アルミ業界、鑄造業界からの中・大型集塵機、工作機械向け小型汎用集塵機が堅調に推移するとともに、水処理装置の貢献があり、売上高は1,869百万円（同12.4%増）となりました。

営業利益は、販売増の奏功により、32百万円（前年同四半期は93百万円の損失）となりました。

#### [搬送分野]

国内では、福祉・医療向け段差解消機が寄与するとともに、シザーリフトが食品や物流関連向けで堅調に推移しましたが、北米市場での自動車部品向け搬送装置が低迷して、売上高は1,246百万円（前年同四半期比3.8%減）となりました。

営業損益は、厳しい価格競争により、26百万円の損失（前年同四半期は37百万円の損失）となりました。

#### [特機分野]

液晶パネル向けハンドリングロボットの売上は低迷しましたが、自動車部品生産設備向けサーボシリンダが堅調に推移するとともに、自動車部品向け検査装置の寄与があり、当分野の売上高は1,717百万円（前年同四半期比16.6%増）となりました。

営業損益は、営業損失を圧縮したものの40百万円の損失（前年同四半期は171百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,613百万円減少し、125,295百万円となりました。

負債合計は、賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,558百万円減少し、40,235百万円となりました。

純資産合計は、為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ54百万円減少し、85,060百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

上半期は欧州市場での収益の低迷に加え、中国や南米市場で想定したほどの伸びが見込めず、また、国内市場においては、復興需要などによる設備投資やメンテナンス部品による下支えがあるものの、4・5月は、消費税増税の反動の影響を受けました。かかる情勢を踏まえて、利益率の低下が避けられず、利益段階では、前回発表の第2四半期の予想数値を下回る見通しとなりましたので、第2四半期及び通期の業績予想を修正いたします。

## 平成27年3月期第2四半期（累計）連結業績予想

連結売上高	44,000百万円
連結営業利益	1,100百万円
連結経常利益	1,500百万円
連結四半期純利益	700百万円

## 平成27年3月期通期連結業績予想

連結売上高	91,000百万円
連結営業利益	3,600百万円
連結経常利益	4,500百万円
連結四半期純利益	2,300百万円

なお、業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づいており、実際の数値は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

新東工業商貿（昆山）有限公司は、前連結会計年度までは持分法を適用した非連結子会社としておりましたが、重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下、「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取り扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が383百万円減少し、利益剰余金が249百万円増加しております。また、これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,499	17,949
受取手形及び売掛金	29,414	27,093
有価証券	7,876	8,279
製品	2,447	2,648
仕掛品	3,940	4,848
原材料及び貯蔵品	3,291	3,242
その他	2,338	2,799
貸倒引当金	△213	△198
流動資産合計	68,595	66,662
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,564	11,461
機械装置及び運搬具(純額)	6,661	6,615
その他(純額)	8,451	8,243
有形固定資産合計	26,678	26,320
無形固定資産		
のれん	630	595
その他	2,004	2,120
無形固定資産合計	2,634	2,716
投資その他の資産		
投資有価証券	24,965	26,084
その他	4,062	3,537
貸倒引当金	△30	△26
投資その他の資産合計	28,999	29,595
固定資産合計	58,312	58,632
資産合計	126,908	125,295

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,811	13,387
1年内償還予定の社債	132	132
短期借入金	1,313	1,386
未払法人税等	789	312
賞与引当金	1,742	881
役員賞与引当金	104	53
プラント保証引当金	297	285
受注損失引当金	134	78
その他	7,775	8,311
流動負債合計	26,100	24,829
固定負債		
社債	66	-
長期借入金	7,665	7,579
役員退職慰労引当金	242	234
環境安全対策引当金	63	63
退職給付に係る負債	1,565	1,060
資産除去債務	114	114
その他	5,975	6,353
固定負債合計	15,692	15,405
負債合計	41,793	40,235
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,752	5,752
資本剰余金	6,269	6,269
利益剰余金	62,291	62,292
自己株式	△1,308	△1,308
株主資本合計	73,005	73,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,431	7,112
為替換算調整勘定	2,282	1,602
退職給付に係る調整累計額	188	200
その他の包括利益累計額合計	8,902	8,914
少数株主持分	3,206	3,139
純資産合計	85,114	85,060
負債純資産合計	126,908	125,295



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	19,088	18,841
売上原価	13,764	13,400
売上総利益	5,324	5,440
販売費及び一般管理費	5,120	5,437
営業利益	204	3
営業外収益		
受取利息	19	36
受取配当金	168	240
持分法による投資利益	107	10
その他	330	54
営業外収益合計	626	341
営業外費用		
支払利息	43	34
売上割引	4	31
和解金	-	30
その他	11	15
営業外費用合計	59	111
経常利益	770	232
特別利益		
固定資産売却益	16	2
その他	0	-
特別利益合計	16	2
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産廃却損	4	0
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純利益	782	234
法人税、住民税及び事業税	195	161
法人税等調整額	245	△56
法人税等合計	440	104
少数株主損益調整前四半期純利益	341	129
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△18	26
四半期純利益	360	103

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	341	129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,331	681
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	1,291	△684
退職給付に係る調整額	-	11
持分法適用会社に対する持分相当額	216	△65
その他の包括利益合計	2,839	△57
四半期包括利益	3,181	72
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,115	113
少数株主に係る四半期包括利益	66	△41

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鑄造 分野	表面処 理分野	環境 分野	搬送 分野	特機 分野	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	7,214	7,603	1,585	1,285	1,365	19,053	35	19,088	—	19,088
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	91	0	77	9	108	287	391	678	△678	—
計	7,306	7,603	1,663	1,294	1,473	19,340	426	19,767	△678	19,088
セグメント利益 又は損失(△)	441	447	△93	△37	△171	586	17	603	△399	204

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計、情報関連及び福利厚生事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△399百万円には、セグメント間取引消去△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△395百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鑄造 分野	表面処 理分野	環境 分野	搬送 分野	特機 分野	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	5,873	8,268	1,751	1,234	1,682	18,810	30	18,841	—	18,841
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	107	0	117	11	35	273	613	886	△886	—
計	5,981	8,269	1,869	1,246	1,717	19,084	644	19,728	△886	18,841
セグメント利益 又は損失(△)	△14	384	32	△26	△40	335	20	355	△352	3

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計、情報関連及び福利厚生事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△352百万円には、セグメント間取引消去36百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△389百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 関連情報

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

## 地域ごとの情報

## 売上高

日本	中国	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	南アメリカ	合計
9,960	3,268	2,060	1,799	926	1,074	19,088

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基本とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……………アセアン諸国・台湾・韓国
- (2) 北アメリカ……………アメリカ・メキシコ
- (3) ヨーロッパ……………ドイツ
- (4) 南アメリカ……………ブラジル

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 地域ごとの情報

## 売上高

日本	中国	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	南アメリカ	合計
10,769	1,853	1,732	1,588	1,780	1,116	18,841

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基本とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……………アセアン諸国・台湾・韓国
- (2) 北アメリカ……………アメリカ・メキシコ
- (3) ヨーロッパ……………ドイツ・スウェーデン
- (4) 南アメリカ……………ブラジル